

被用者年金一元化に係る主な経緯について

(1) 関係省庁連絡会議の設置

- 公的年金一元化の問題について、まず被用者年金一元化から先行すべきとの観点から、処理方針をできるだけ早く取りまとめる旨の総理指示により、平成17年10月3日、「被用者年金制度の一元化等に関する関係省庁連絡会議」を設置。
- 関係省庁連絡会議は、平成17年12月7日に「被用者年金一元化に関する論点整理」を取りまとめ。

(2) 与党年金制度改革協議会等における取組み

- 与党年金制度改革協議会においては、平成16年12月1日に「来年中にも一定の方向性を示す」旨を申し合わせた後、平成17年8月には「論点メモ」を、同年10月5日には「今後の主要論点」の整理を行うなど、検討が進められた。
- 平成17年12月14日には、「被用者年金一元化についての考え方と方向性」が取りまとめられた。
- 平成18年2月21日には、関係団体からヒアリングが行われた。
- 自民党内の関係部会の調整を進めるため、「被用者年金一元化等に関する役員会」が設置され、3月15日に「被用者年金一元化についての検討方針案」の整理が行われた。

(3) 政府・与党協議会における検討

- 政府・与党が一体的、効率的に取り組むため、平成18年1月16日には、「被用者年金一元化等に関する政府・与党協議会」の初会合を開催。
- 同会合では、内閣官房長官より、4月末のゴールデンウィーク前を目途に、被用者年金一元化の基本方針を閣議決定したいと考えている旨表明された。
- 2月9日に開催された第2回政府・与党協議会では、政府より「被用者年金一元化についての検討・作業方針」を提出し、今後、実務的な調整を行うこととされた。
- 次回（第3回）政府・与党協議会については、日程調整中。